



QFN 通信

Qshu Forest Network News

NPO 法人 九州森林ネットワーク

巻頭文 副理事長 渡邊 雄一郎

冬の名残のまだ去りやらぬ時候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

2/14 に日本列島を襲った南岸低気圧の影響によって、当地域でも大雪に見舞われました。平均で 25cm、雪が多い所では 50cm の積雪が観測されました。今回の豪雪によって被害に見舞われた方には心よりお見舞い申し上げます。

本号では、平成 25 年 11 月 8 日～10 日に第 2 回プレミアム研修として訪問しました対馬市の様子をお伝え致します。対馬市独自の森林づくり条例の紹介や低炭素エネルギー政策など、離島が抱える問題を解決するための数多くの独自の事業は大変興味深いものがありました。

また、宿泊した対馬西山寺を始めとした国境の島らしいエキゾチックな風景や環境など本土では決して味わう事のできない経験を数多くさせて頂きました。

他にも、交流会や食通際などのイベントを通して地域の方々と触れ合う機会が多く、大変有意義な研修会だったと思います。

財部 対馬市長、対馬市役所様を始め、地域の方々にご支援いただき心より御礼申し上げます。

次回は私が住んでいる日田市にて、プレミアム研修会を開催いたします。

日田市に活動拠点を置く「ヤブクグリの会」との研修会が目的ですが、今回は町で開催するという事もあり、今まで九州森林ネットワークで見る事のなかった教育機関(日田林工)や、地元の材料を使った地場工芸品の工場(木履工場)を見学予定地に入れていきます。他にも話題の固定価格買い取り制度を活用した木質バイオマス発電所の見学も予定しています。

盛りだくさんのメニューを用意していますので、皆様ふるってご参加ください。

第 16 号 since2005.6.1

発行日 2014.3.30

<発行>

NPO 九州森林ネットワーク

本部：宮崎県諸塚村

<編集責任>

大分・上津江オフィス

【目次】

第 18 回九州森林フォーラム
の報告 P.2～P.4

会員便り P.5

第 3 回会員向けプレミアム
研修会のお知らせ P.6



第2回 プレミアム研修会 in 対馬 平成25年11月8日(金)～10日(日)

「中世の自然が生きる島で学ぶ」 ～地域の特色ある森づくりを考える～

九州最北端の島・対馬市は、島の89%を占める森林は、国定公園に指定される中世が生きてもと言われる豊かな自然が残り、ツシマヤマネコをはじめとする希少動物も生存し、環境保護や低炭素社会化のための、Jクレジットも発行されています。

また、人工林では伐期を迎えるヒノキ林も多く、森づくり条例も制定されています。また、漁業も主産業であり、島の中での森と里と海の連関が必要です。また、島おこし協働隊として、生物多様性や有害鳥獣対策などのIターン者受入などの移住・交流事業も行われています。

本土との流通など、島という不利な、克服すべき課題も当然ありますが、豊かな資源があるなど、島だからこそという利点をどう活かすか、全国一律ではない、地域の特色ある森づくりについて考えてきました。

第1部 11月8日(金) 対馬市役所による対馬市の説明会

対馬市役所の各担当の皆様から、森林づくり条例、木質バイオマスボイラー導入計画、生物多様性、対馬市の国際交流、有害鳥獣対策、低炭素社会政策について説明を受けました。



夜には、対馬市の皆様と交流会を行いました。

また、宿泊先はかつて朝鮮との外交機関「以酌庵」が置かれていた西山寺でした。



第2部 11月9日(土) 対馬島内視察

対馬島内の見学として、木材加工・木質チップ工場、木質チップボイラー、食通祭、対馬野生生物保護センター、目保呂馬事公園(対州馬)を視察致しました。



第3部 11月9日(土) 意見交換会

財部 対馬市長にも参加頂き意見交換会を行いました。



第4部 11月10日(日) エキスカーション



■ 参加者

14名

QFN 通信会員便り

NPO 法人九州森林ネットワーク事務局
宮崎県諸塚村役場企画課 松村泰宏

ザ！神楽

諸塚村には、村内各集落に神楽が残っていますが、一晚通して奉納されるのは、戸下、南川、桂の3地区があります。その内の戸下神楽が、2月8日（土）～9日（日）に奉納されました。今年は、10年に一度あるかないかの大神楽（大成就神楽）で、いつもの年より十番多い五十番の演目が奉納されました。

神楽の準備は、一月前から始まりますが、大神楽ともなると例年以上の準備が必要です。舞方の練習も多くなり、御幣、ざんぜつ、道具などの準備、御神屋建てなどなど、仕事が終わってから、日曜日毎の準備が続きます。婦人方は、舞手の三日三晩の食事の準備片付け、お客さんの賄いの段取りなど、裏方を一気に引き受けます。子供達も夜中の3、4時頃に出番があります。集落のみんなが主役です。

一週間前に神楽を奉納する御神屋を、集会所から外に駆け出し、前日金曜日に雨の中での準備、神楽当日は晴れましたが、徹夜で神楽奉納した翌日月曜日の片付けは又雨の中でした。本当に厳しい神事ですが、それを成し遂げた戸下集落の皆さんに深く敬意を表し感動さえ覚えます。

今年、この戸下地区で大神楽が奉納されたのは、伊勢神宮の式年遷宮に合わせたのもありますが、地元で、ここ数年で集落の指導者の一番の中堅である50代の世帯主が続けて亡くなりました。地域のためにも神楽にも村にも大きな損失でした。そのようなこともあったからか、長老から若手から、「今、大神楽をやっておかないと継承が難しくなる。」と話が持ち上がってきたのが大神楽だったと思います。

「今度が大神楽は最後かもしれん。」内外からそんな話も聞かれますが、私には隣集落の住民として確信があります。彼らはそんなやわではありません。必ず10年後に大神楽の奉納があります。



NPO 法人九州森林ネットワーク第3回プレミアム研修会のお知らせ

■日程：平成26年5月9日（金）～5月10日（土）

■集合：5月9日（金）12:00

■テーマ：「ヤブクグリの会に学ぶ森林資源を活かした地域の活性化」

森林・林業を切り口に、地域の活性化の為に様々な活動をしている「ヤブクグリの会」との勉強会や交流会を通して「地域の活性化」や「森林・林業の未来」について話し合っていきたいと思えます。

また、議論を深める上で、未利用材を使用した木材バイオマス発電を始め、地域材を使った伝統工芸品である日田下駄の工房を見学致します。

その他、後継者を育成する公的な機関である日田林工を訪問し、教育内容や教育施設、授業風景、卒業生の進路状況や活動状況などを見学致します。

※ヤブクグリの会

全国各地から山や林業に興味を持った仲間たちが日田に集まり、日田の林業を中心に何か愉快な事をやっていく会。スローガンは、「いま、森を見よ！ヤブクグリ」と設定。

■参加費(宿泊代・懇親会費等込)：15,000円(会員)、18,000円(会員外)

■宿泊場所：みくまホテル 大分県日田市隈1丁目3-19 TEL:0973-23-3000

■持ち物：寝間着、洗面セット、着替え等が必要です。動きやすい服装でご参加ください。

■定員等：先着30名様まで 4月21日(月)申し込み〆切

※完全予約制ですので、ご参加される方のお名前・住所・電話番号を下記までお知らせ下さい。

■主催：NPO 法人 九州森林ネットワーク

■プログラム(予定)：

5/9(金) 12:00	みくまホテル 集合 & 出発
12:40～13:10	咸宜園・教育センター(見学)
13:30～14:30	日田林工 高校(見学)
14:40～15:10	月隈木履工場
15:50～17:00	グリーン発電大分天瀬発電所(バイオマス発電見学)
18:00	ホテル着
18:30～	ヤブクグリの会との懇親会
5/10(土)	
10:00～12:00	寶屋(ヤブクグリ事例紹介 + 昼食)
12:30	解散

■問い合わせ先：NPO 法人九州森林ネットワーク事務局（宮崎県諸塚村 企画課内）

TEL:0982-65-1116 FAX:0982-65-0032

Mail:k.yasu.matsu@morotsuka.jp